

電気専門用語集 No. 10 ヒューズ[改正]

ヒューズ用語標準特別委員会

委員長 山納 康

幹事 田中 慎一, 常峰 孝司

電気専門用語集 No. 10 ヒューズを改正・発行した。この電気専門用語集 No. 10 ヒューズは、1972年に初版が発行されてから約10年毎に改訂され2004年に3版改訂が発行され19年が経過し現在に至っている。(以下、旧用語集は2004年の改訂版を称する。)初版から旧用語集の発行までは、JEC-175 電力ヒューズ(1968年)とJIS C 8352 配線用ヒューズ及びヒューズホルダ通則(1968年)の用語および定義の統一、JEC-2330-1986 電力ヒューズの制定に伴う用語の追加と見直し、IECの用語の導入および参考図の積極的な導入による分かり易さの向上が進められた。旧用語集の発行以降、JEC-2330-1986 電力ヒューズは、IEC 60282-1 High-voltage fuses-Part 1: Current limiting fuses との整合が進められ、2017年にJEC-2330:2017 電力ヒューズとして改正された。また、JIS C 4604 高圧限流ヒューズも2017年に改正された。これらの規格の改正に伴う用語の見直しおよび追加が必要となっている。一方、国際規格では、International Electrotechnical Vocabulary (IEV) - Part 441: Switchgear, controlgear and fuses (以下、IEVと称す)やIEC Glossaryが編纂されており、本用語集との対応が求められている。

これらヒューズに関連する用語を用語集に反映するとともに、新たに追加が必要と考えられる用語、使用されていない用語、誤用を招くおそれのある用語、技術的に適当でない用語などを整理し、改正を行った。

ヒューズ標準化委員会では、JEC-2330:2017 電力ヒューズの改正の後、2018年から2020年にかけて、電気専門用語集 No. 10の改正に関し、内外の最新の用語の予備的な調査を行った。2020年9月より具体的な活動を行うため、電気一般部会 電気専門用語標準化委員会 ヒューズ用語標準特別委員会を設置し、改正作業が進められ、2023年5月に成案を得て、2023年9月26日に電気規格調査会規格役員会の承認を経て制定されたものがこの電気専門用語集 No. 10 ヒューズである。

旧用語集からの主な改正点は、新規用語の追加、採録用語の見直し、定義文の見直しなどを行った。

各用語の英語に関しては、IEVを重視し、IEVの定義のない用語については語彙数の多いIEC Glossaryも参照し

ている。また、国内外での使用例の確認を行うなど、齟齬の起さないよう注意を払っている。IEVやIEC Glossaryに定義のある用語に対しては、それぞれの英語の後に番号を付している。

(1) 新規採録した用語

今回、新たに23用語の追加を行った。旧用語集以降に改正されている下記規格なども参考にして、用語の追加を行った。

- ・JEC-2330:2017 「電力ヒューズ」
- ・JIS C 4604:2017 「高圧限流ヒューズ」
- ・JIS C 8269-1:2016 「低圧ヒューズ」
- ・JIS C 8377:2021 「半導体保護用ヒューズリンク」
- ・JIS C 6572-2:2016 「ミニチュアヒューズ- 第2部: 管形ヒューズリンク」
- ・JEM 1496:2018 「高圧カットアウト」

(2) 削除した用語

今回、11用語の削除を行った。ヒューズに関する用語として使用実態がほとんどないものやヒューズに関する用語として関連性の低いものは削除した。

最後に、本改正は、委員をはじめ、様々な方々にご協力いただき取り纏めることができた。具体的な見直し作業を行うため、ヒューズ用語標準特別委員会を設置したが、コロナ禍によりWeb会議による開催となり、計画よりも1年間延長しての活動期間となった。お忙しい中をご協力いただいた全ての方々に、心から感謝申し上げる。

～委員長よりひと言～



山納 康

やまのう やすし

電気規格調査会 ヒューズ用語標準特別委員会
委員長

歴史の長いヒューズの利用に関して、旧用語集の全ての用語と新規用語について、委員各位の調査と委員会での議論の末に取り纏めることができました。

論文や技術報告書の書見や執筆の際に利用いただきたい。